

【民設民営】⑤

都道府県	京都府
市町村	与謝野町
施設名称	加悦SL広場
施設内容	駅舎・展示室/場内周遊ミニ列車/機関車トーマスバッテリーカー/機関庫/転車台/カフェ/パン屋/御土産屋/親水公園
開館時間	午前10時～午後5時(カフェやパン屋は別)
休館日	年中無休
入場料	大人:中学生以上 400円、小人:3歳以上 200円((平成29年の入館者数約12,000人)家族連れが多い。)
駐車場	普通車50台(無料)、大型バス10台(無料)
設置目的	地場産業である「ちりめん」の輸送、国際重工業の礎となる鉱土の輸送、地域の人々の通勤・通学等々、時代時代の役割を担ってきた加悦鉄道の歴史を伝える重要な資料等の保存・継承を目的として設置。
運営方針	-
達成目標	-
運営方法	宮津海陸運輸株式会社が設置・管理。補助金・交付金等無し。
資金調達	入館料
その他	平成8年、加悦庁舎横にあった駅舎を移転・建設。 平成11年、産業考古学会より「保存功労賞」を授賞 平成12年、「推薦産業遺産」に認定、鉄道友の会より「グローリア賞」受賞 平成15年、加悦鉄道両群11両が与謝野町文化財に認定

ショップTaDa蒸気屋: 食堂車を改装し、タイピン、バッジのほか、地元特産品や軽食。

カフェ蒸気屋: 鉄道車輛を改装したカフェ。

パン屋: 北近畿唯一、スイス生まれのヒーシュタント社が製造したパンを販売。



子育て支援施設事例

【公設民営】子育て支援センター にっこりあ（宮津市福祉・教育総合プラザ）

都道府県	京都府
市町村	宮津市
施設名称	子育て支援センター にっこりあ
設置目的	就学前の子どもを持つ子育て世帯の暮らしをより豊かなものにする。図書館、市健康福祉部、教育委員会事務局が同施設内に移転し、福祉・教育のワンストップ化を図る。
施設内容	アクティブエリア(ボルダリングなど)、ロールプレイエリア(おままごとなどの見立て遊び)、ベビーエリア(ベビー向け遊具)
開館時間	午前9時～午後4時30分
休館日	木曜日、年末年始
入場料	無料 ※未就学児対象(日曜日のみ小学4年生まで) なお、いずれも保護者の同伴が必要
駐車場	1000台
運営方針	子育て専門職を配置して、子育てのさまざまな相談に応じるほか、「季節の行事や工作」「絵本の読み聞かせ」や「リズム遊び」なども実施。子育て親子の交流を図る。
達成目標	(平成29年11月27日から平成30年2月18日までで10,302人来場) 市外来館者約65%
運営方法	社会福祉法人城東福祉会が運営委託。市が建物フロアを無償借受し、借受部分の都市計画税及び固定資産税を非課税とする。
資金調達	地方創生拠点整備交付金活用 総事業費 10億200万円(宮津市福祉・教育プラザ整備) ※新築の場合は14億円、複合化せずにそれぞれ単独整備の場合は18億円と試算
その他	宮津市中心市街地沿岸地区に位置する民間商業施設(宮津シーサイドマートミップル)の3・4階、約8000㎡に、福祉・子育て関連施設・窓口等を集約・複合化。



【公設民営】子育て交流施設 あそびあむ

都道府県	京都府
市町村	舞鶴市
施設名称	子育て交流施設 あそびあむ
設置目的	「楽しく遊ぶ」「しっかり遊ぶ」「いろいろな人と遊ぶ」「安心して遊ぶ」を基本方針に、天候に左右されず子どもたちがのびのびと遊べる施設、子どもと多世代の大人がふれあい、交流し、共に遊びを体験することができる施設、そして、子どもの安全面に配慮し、安心して遊ぶことのできる施設を目的に設置。
施設内容	遊具、土場、木の玉プール、木のおもちゃコーナー、絵本コーナー、授乳室、交流室があるほか、飲食可能な大屋根ゾーンや多目的利用可能な広場もある。 うみべのもり保育所、総合文化会館と併設。
開館時間	午前9時30分～午後5時00分
休館日	木曜日
入場料	無料
駐車場	183台
運営方針	「楽しく遊ぶ」「しっかり遊ぶ」「いろいろな人と遊ぶ」「安心して遊ぶ」を基本方針に、常設の遊具のほかに特別企画イベントなども実施している。
達成目標	-
運営方法	舞鶴あそび隊(子育て中の親、祖父母、大工、保育士、教諭、市職員、学生、子どもが好きな人などが参加する市民グループ)が、あそびについて考えながらあそびの環境やプログラムを検討・実践。
資金調達	子育て交流施設整備事業費 7億7,692万円(H26予算+H25予算) 子育て交流施設管理運営経費 18,866千円(H30予算)
その他	施設面積 約1,307㎡ 広場面積 約5,000㎡



歴史継承施設事例

【公設公営】

都道府県	京都府
市町村	舞鶴市
施設名称	舞鶴引揚記念館
設置目的	戦争を知らない世代が多くなり、引き揚げの歴史も徐々に風化しつつある今、歴史を知りよりよい未来を創造するための拠点とすることを目的とする。
展示内容	シベリア抑留生活や岸壁の母、引揚に功績を残された方々を紹介する常設展示。常設展示の重要部分を掘り下げて展示する企画展示。「語り部」による口頭伝承も行われている。 所蔵資料数 11,209点(衣類、生活用品、写真、絵画、証明書類、新聞類、書籍等) 毎年、引揚者の御遺族の方々から寄贈が行われている。
開館時間	午前9時00分～午後5時00分
休館日	毎月第3木曜日(8月と祝日を除く)、年末年始
入場料	大人300円、学生150円 ※市内在住か在学の学生は無料。団体割引あり。
駐車場	無料
運営方針	市予算だけでなく、寄付、寄贈により市民理解や協力を得ながら、共に守りつないでいく運営を行う。
達成目標	交流人口300万人
運営方法	市直営とし、学芸員を配置。出張講座や教育旅行の提案を行っている。
資金調達	市の予算及び寄付。今後、企業版ふるさと納税を活用予定。
その他	平成27年に所蔵資料等が「ユネスコ世界記憶遺産」登録。平成30年4月に開館30周年となり、市直営の施設としてリニューアル。 整備費 78,500千円(平成29年度予算) 史実継承事業費 5,284千円(平成30年度予算) 管理運営経費 35,164千円(平成30年度予算) 延床面積 1,348㎡ 累計入館者数 414万9,553人(平成30年4月現在)



その他事例

都道府県	京都府
市町村	舞鶴市
団体名	北近畿鉄道ビジネス株式会社
事業内容	<p>■赤レンガ鉄道フェスタ2018 日時:平成30年4月28日 内容:巨大タワー・大ジオラマ、Nゲージデモ運転</p> <p>■西舞鶴ミニ鉄道フェスティバル 日時:平成30年7月15日 内容:Nゲージ運転体験、写真展、鉄道タレントサイン会</p> <p>■鉄道パブ EXPRESS丹後 日時:平成30年11月18日 内容:レンタル店舗にて、時刻表や鉄道雑誌を見ながらくつろぐことができるカフェの出店</p> <p>■キッズ鉄カフェ in FLA+ 日時:11月18日 内容:レンタル店舗にて、鉄道おもちゃを設置したカフェを出店。</p> <p>■おもちゃ列車 内容:京都丹後鉄道と連携し、お座敷列車の中に鉄道おもちゃを設置し運行するイベントを実施。</p>
その他	

